

交換留学成功の鍵は、TOEFL®スコアと学業成績！

➡留学プログラムの中でもハードルが高い交換留学。今すぐ、対策をはじめよう！！

交換留学で求められるスコア等	
語学カテスト要素	TOEFL iBT® (http://www.cieej.or.jp/toefl/) 公式な TOEFL®。120点満点。公式スコアでないと申し込めない留学先がある。スコアを利用できる範囲が最も多い。
	TOEFL ITP® (https://www.cieej.or.jp/toefl/itp/) 団体用 TOEFLS®。677点満点。公式スコアではないため、ITP のスコアを利用できない留学先がある。そのため、ITP のスコアだけで出願する場合、必然的に競争率が高くなる。
	IELTS (http://www.eiken.or.jp/ielts/) Academic Module のスコアを利用できる大学がある。0～9 のバンドスコアで評価。
	漢語水平考試 (HSK) (http://www.hskj.jp/) 韓国語能力試験 (TOPIK) (http://www.kref.or.jp/examination/)
学業成績要素	GPA (Grade Point Average) 0.0～4.0で4.0が最も高い。 履修登録した全科目の点数をポイント化 (単位を修得できなかった科目も含まれる)。計算方法は「履修の手引」参照。
	平均点 60～100で、100が最も高い。 単位を修得した全科目の平均点

留学と卒業計画

2 年次に留学し、かつ、4 年間で卒業するためには、留学していない期間に計画的に単位を修得していかなければなりません。
履修基準年度 3 年の「研究演習 I」または「Research Seminar I」は、2 年次までに定められた科目群の単位を修得していなければ、履修することができません。
3 年次に「研究演習 I」または「Research Seminar I」を履修できなければ、卒業が少なくとも 1 年遅れる (留年する) ことになってしまいます。留学を計画する際には、この点を理解し、2 年終了時までに「研究演習 I」または「Research Seminar I」の先修条件を満たせるようにしましょう。
この条件は決してハードルの高いものではありません。

研究演習 I / Research Seminar I の先修条件		* 下記単位の修得の他、休学期間を除く 2 年間の在学期間が必要。	
【一般学生】		【日本語話者留学生／ English-based International Student】	
第 1 外国語初級----- 8 単位		第1外国語初級----- 8 単位	
第 2 外国語初級----- 2 単位		国際基礎科目 第 2 類 (基礎的科目) ----- 2 単位	
国際基礎科目 第 1 類 (入門的科目) ----- 4 単位		国際基礎科目 第 3 類 (基礎演習科目) ----- 4 単位	
国際基礎科目 第 2 類 (基礎的科目) ----- 8 単位		卒業必要単位に算入できる科目で上記以外----- 18単位	
国際基礎科目 第 3 類 (基礎演習科目) ----- 4 単位			
卒業必要単位に算入できる科目で上記以外----- 6 単位			
合 計 32単位		合 計 32単位	

その他
①長期留学、中期海外インターンシップ、国際ボランティア (国連ユースボランティア、国際社会貢献活動)、第 1 外国語以外の言語の国への留学については、第 1 外国語の単位修得方法に留意してください。単位修得に遅れが出ることがあります。
②教職を目指す人は、教職課程の単位修得計画との両立を見据えて留学プログラムを選択しましょう。

留学に関する財政援助

国際学部留学奨励金・留学奨学金

国際学部生のみを対象とした返済義務のない支給型の奨学金です。在学中に1回のみ受給可能です。国際学部事務室で取り扱っています。

申請すれば必ず支給されます！

交換留学または認定留学をする学生のうち成績優秀者若干名のみ採用します！

留 学 種 別	留 学 奨 励 金	留 学 奨 学 金
英語・中国語・朝鮮語・スペイン語短期留学（語学研修）、ドイツ語・フランス語語学研修	15万円	
中期留学、中期海外インターンシップ、国連ユースボランティア、国際社会貢献活動	40万円	
交換留学、認定留学または長期留学（学教科目履修型）（2 セメスター）	60万円	40万円
交換留学、認定留学または長期留学（学教科目履修型）（1 セメスター）	30万円	20万円

※ダブルディグリー留学については、別途ダブルディグリー留学奨学金制度（選考あり）が設けられています。詳細は「ダブルディグリー留学案内」等を参照してください。

その他 全学部生を対象として、下表のような奨学金があります。内容は変更になる場合があります。CIEC が募集する奨学金と国際学部留学奨励金・奨学金は 1 回の留学において重複受給できません。

取扱窓口等	奨学金 (金額)
国際教育・協力センター (CIEC) 一部学外奨学金も含む。 参考資料：「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume I」等	●井谷憲次奨学金 [交換留学] (2 セメスター：100万円、1 セメスター：50万円) ●関西学院大学交換留学奨学金 (2 セメスター：30万円、1 セメスター：15万円) ●関西学院大学長期留学奨学金 (2 セメスター：50万円、1 セメスター：25万円) ●一部協定大学からの補助・奨学金 (大学により金額等は異なる) ●関西学院大学中期留学奨学金 (20万円) ●関西学院大学短期留学奨学金 (アジア：3 万円、アジア以外 5 万円) ●井谷憲次奨学金 [短期留学] (アジア：3 万円、アジア以外 5 万円)
学生課 参考資料：JASSO の Web サイト	日本学生支援機構 (JASSO) 第二種奨学金 (貸与奨学金、返済要) 月額 2 万円～12万円 (1 万円刻み)

SAF 認定留学

SAF (Study Abroad Foundation) は主に英語圏に留学したい学生に留学先を斡旋している米国の非営利団体です。認定留学を希望する国際学部生は SAF を通じて留学先を探すことができます。交換留学と比べて、費用は多くかかりますが、交換留学先がない大学を選べるなどのメリットもあります。

【SAF の Web サイト】
<http://japan.studyabroadfoundation.org/>

留学と就職活動

2 年次での留学を原則としている背景に就職活動の早期化があります。3 年次の秋学期から実質的な活動が始まっているのが現状です。3 年次以降に留学することの就職活動への影響を心配する声が時々聞かれます。3 年次以降の留学について迷っている人は、キャリアセンターで就職活動スケジュールや過去に 3 年次以降に留学をした先輩の資料を調べるなど、情報収集したうえで判断をしましょう。

自立しよう

留学の手続き・相談に限らず、最近、①何でも親にやらしてもらおうとする②「留学の手引き」や「履修の手引き」などの説明冊子を読み、自分で必要な情報を集めて考えることをしない③手続きの期限を守れないなど、自立していない人が増えています。留学、就職活動の成功には自分で考え行動することが必須です。早くから自分を訓練しておきましょう。

CIEC

CIEC (シエック) とは、Center for International Education and Cooperation の略で、国際教育・協力センターを指します。CIEC は国際学部が開設される以前から関学の国際交流の中心として交換留学をはじめとする各種プログラムを運営している組織です。交換留学など多くの国際プログラムの運営・事務取扱窓口は CIEC です。一方国際学部留学奨励金等、国際学部学生のみに関わるものの窓口は国際学部事務室となります。少し紛らわしいですが、手続きごとに取扱窓口が示されますので、間違えないように注意してください。



2020 年度 国際学部留学ガイド 関西学院大学 国際学部

「説明会」に参加しよう!!

春には留学に関する説明会が多く開催されます。主なものを紹介しますので積極的に参加してください。

留学フェア	
日時	未定
場所	未定
主催	国際教育・協力センター (CIEC)

KG LIFE 2020 関西学院大学新入生オリエンテーション留学説明会	
(新入生対象説明会)	
日時	未定
場所	未定

ダブルディグリー留学制度説明会	
日時	4 月 2 日 (木) 16:20～17:20
場所	第 5 別館 3 教室
主催	国際学部

SAF 認定留学説明会・個別相談会	
〔説明会〕	
日時	5 月 21 日 (木) 12:45～13:25 (昼休み)
場所	G 号館 IS 棟 303号教室
主催	国際学部
〔個別相談会〕	
日時	5 月 21 日 (木) 13:30～16:40
場所	G 号館 IS 棟 3F 国際学部 中会議室

* 上記以外にも複数の留学プログラム募集説明会が予定されています。詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume I」を参照してください。

留学に関する情報はここで！

- 国際学部「留学・国際交流」掲示板 (G 号館 IS 棟 1 階)
- 国際教育・協力センター (CIEC) 掲示板 (G 号館 1 階)

- CIEC ウェブサイト <https://ciec.kwansei.ac.jp/>
- CIEC メールマガ https://jibt.f.msgs.jp/webapp/form/20991_jibt_18/index.do

- 教学 Web サービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/>

国際学部生の卒業条件となる留学プログラム一覧

自分の目的・語学力・学業成績にあった留学プログラムを選ぼう！

※2020年 4月現在の情報です。

	長期留学(約6ヶ月～1年)			中期留学(約4～6ヶ月)		短期留学(約1ヶ月)	その他										
	交換留学	認定留学	長期留学 (学部科目履修型)	全学部生対象英語中期留学・ フランス語・スペイン語中期留学	国際学部生のみ対象 中期留学(中国語・朝鮮語)	春季・夏季語学研修	中期海外インターンシップ(約3ヶ月)	国際ボランティア		ダブルディグリー留学 (約1.5～2.5年)							
				国連ユースボランティア(約5ヶ月)	国際社会貢献活動(約5ヶ月)												
留学先	北米・アジア・ヨーロッパ・オセアニア・中南米等の約180校の協定校	各自が留学先大学を決定する。ただし、学位授与権のある大学に限る。語学留学での認定留学は認められない。	アメリカ・アイルランド・オーストラリアの協定校6校	2019年度入学生：履修の手引き33ページを参照 2018年度以前入学生：履修の手引き60ページを参照	中国：北京第二外国語学院(北京市)、蘇州大学(蘇州市)、国立台湾師範大学(台湾) 韓国：延世大学(ソウル)	2019年度以降入学生：履修の手引き34ページを参照 2018年度以前入学生：履修の手引き61ページを参照	オーストラリア：ニュー・サウス・ウェールズ大学	主に開発途上国の国連ボランティア計画(UNV)をはじめとする国連諸機関 ※ UNV を通じて提供される案件	主に開発途上国の国際機関、NGO、教育機関など	オーストラリア：クイーンズランド大学(UQ) カナダ：マウント・アリソン大学(MTA) ビクトリア大学(UVIC)							
留学時期	大学によって異なるが、 2～4月に出発、5～7月または12～2月に帰国 8～10月に出発、12～2月または4～7月に帰国	留学希望大学の学年暦による	大学によって異なるが、 2～4月に出発、5～7月または12～2月に帰国 8～10月に出発、12～2月または4～7月に帰国	春学期プログラム：3～8月の間の約4ヶ月 秋学期プログラム：8～3月の間の約4～5ヶ月	中国(北京・蘇州)：2～7月 台湾：8～2月 韓国：9～3月	夏季：8～9月の約3～5週間 春季：2～3月の約2～6週間	9～12月	秋学期	春学期 秋学期	UQ：2年次の2月から約1.5年または約2年 MTA：2年次の9月から約2.5年 UVIC：3年次の9月から約2年							
募集人数	各大学で年間1～5名程度	――	――	大学により各学期6～30名	北京：12名 台湾：15名 韓国：15名	プログラムにより異なる。若干名 各プログラム15～50名程度。	20名	4～5名程度(予定)	各学期15名程度	UQ：若干名 MTA：2名 UVIC：若干名							
特徴	①学生交換協定のある大学で・ 現地学生と同じ授業を履修 ・留学生用の授業を履修 ・語学学習、のいずれか ②期間は1セメスターまたは2セメスター ③全学生から選考試験を経て協定校への推薦者を決める。 開学から推薦する学生に先方の大学が受入許可を出して初めて留学が確定する。	①自分で留学したい大学(学位授与課程に限る)を探し、入学手続を行う。 ②現地学生と同じ授業を履修する。 ③期間は1セメスターまたは2セメスター	①学生交換協定のある大学で・ 現地学生と同じ授業を履修 ・留学生用の授業を履修 ・語学学習、のいずれか ②期間は1セメスターまたは2セメスター ③全学生から選考試験を経て協定校への推薦者を決める。 開学から推薦する学生に先方の大学が受入許可を出して初めて留学が確定する。	①外国語の上達だけでなく、国際人としての感覚を育むことができる。 ②語学学習に加え、インターンシップ、ボランティア、英語での講義科目を受けられる大学あり。	①約4～6ヶ月間、集中的に中国語・朝鮮語を学べる。 ②参加にあたって、語学力は問われない。 ③国際学部生のみが対象。 ④4月に保健館が実施する健康診断を受診している者	①期間は1ヶ月程度。 ②夏休みまたは春休みに行われる。 ③どちらかといえば海外初心者向け。 ④参加する年次により単位を修得できる科目が異なる。	ビジネス英語を学びながら、就業体験ができる。卒業後は世界を舞台に活躍したいというキャリアプランをもつ学生にお勧め。	①国際協力の現場で必要とされる専門知識や技術を身に付けられる。 ②派遣前の事前研修により国連や国際機関、地球規模問題、異文化コミュニケーション、プロジェクト・マネジメントなどの知識が身に付けられる。 ③情報通信、教育、環境、防災活動、世界の若者の能力強化に関する分野で活動する。	①国際協力の現場で必要とされる専門知識や技術を身に付けられる。 ②派遣先ごとに特徴があり、教育支援、環境保全、観光開発、平和構築などの幅広い分野で広報活動、フィールド調査、エコツアー開発・調整、学校教育補助など、多彩な活動に携わる。	4～5年で2つの学位の取得が可能							
費用(目安)	授業料は開学にのみ支払う(授業料相殺)。 学費以外の生活費、渡航費等が必要。	開学と留学先大学両方に学費を支払う。 学費以外の生活費、渡航費等も必要。	開学と留学先大学両方に学費を支払う。 学費以外の生活費、渡航費等も必要。	開学の学費とは別に参加費(60～300万円程度)が必要。参加費以外の生活費等も必要。	開学の学費とは別に参加費(50～100万円程度)が必要。参加費以外の生活費等も必要。	開学の学費とは別に参加費(20～85万円程度)が必要。参加費以外の生活費等も必要。	開学の学費とは別に参加費(125万円程度)が必要。参加費以外の生活費等も必要。	開学への学費を支払うほか、査証取得、予防接種、健康診断、海外旅行傷害保険、事前研修の交通費、食費、宿泊費などの経費が必要。往復渡航費、現地滞在費などについては UNV から派遣費用が支給されます。	開学への学費を支払うほか、往復渡航費、現地滞在費、査証取得、海外旅行傷害保険、予防接種、健康診断などの経費が必要。	ダブルディグリー留学案内参照							
参加資格	【出願資格】 参加資格は大学毎に設定されている。 ①留学時に1年以上在学している者(入学年度の第1期募集に出願し、入学年度の2月から交換留学を開始することは可) ②英語による受験者のみかのいずれかのスコア (2019年4月以降に受験のもの) TOEFL iBT®54点以上、TOEFL ITP®480点以上、IELTS (アカデミック) 4.5点以上 ③春学期末までの修得単位数(見込み可) 【1年生】16単位／【2年生】47単位 【3年生】76単位／【4年生】94単位 4年生については2019年度末までの単位数 ④良好な学業成績(全学部共通：春学期までの通算 GPA が2.00以上または見込み。国際学部生：学部としての平均 GPA が高いため、最低ラインはより高くなる。)	①「認定留学届」等の書類を国際教育・協力センターに提出(約2ヶ月前) ②認定留学希望先の大学から、入学許可取得 ③国際学部教授会による許可を得た上で、正式に認定留学として認められるかが決まる。	①留学時学期2年生以上(大学院生は申込不可) ②春学期末までの修得単位数(見込み可) 【1年生】16単位／【2年生】47単位 【3年生】76単位／【4年生】94単位 4年生については2019年度末までの単位数 ③所定の GPA および英語スコアの基準を満たしている者	【英語】 ①2年生以上(申込は1年生から可) ②下記のいずれかのスコア(2019年4月以降に受験のもの) TOEIC®500～700点、TOEFL ITP®420～530点、TOEFL iBT®36～71点、IELTS 4.0～5.5点 ③第1学年度の必修英語科目の単位を修得済(出願時は修得見込み) 【フランス語】 ①原則2年生(申込時は原則1年生) ②第1学年度の選択必修科目としてのフランス語4単位を修得済(出願時は修得見込み) 【スペイン語】 ①学部2年生以上(大学院生は申込不可) ②所属学部が指定する第1学年度必修科目のスペイン語4単位以上を修得している者、または修得見込みの者。	国際学部の2年生以上であること。	【英語・中国語・朝鮮語・スペイン語】 特になし。 ただし、ペンシルベニア大学やケンブリッジ大学など、一部英語能力試験のスコア提出が求められる。 【フランス語・ドイツ語】 言語教育科目のフランス語/ドイツ語を履修していることが望ましい。	①2年生以上(申込等は1年生から可) ②TOEFL ITP®510点以上、TOEFL iBT®64点以上、IELTS 5.5点以上(Overall)、TOEIC®620点以上 TOEIC®スコア利用者のみ出願後に現地大学による15分程度のオンライン面接選考あり ③第1学年度の必修英語科目の単位を修得済(出願時は修得見込み)	①派遣時に20歳以上の2年生以上であること。 ②日本国籍を有すること。 ③選考時に TOEFL ITP®500点 (iBT61点、IELTS5.0点、TOEIC®630点) 以上の英語力を有することが望ましい。英語以外に活用できる外国語能力を有する場合、選考やマッチングの際に有利。 ④開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 ⑤国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。	①2年生秋学期以降の参加であること。 ②開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 ③国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。	ダブルディグリー留学案内参照							
選考	選考要素を点数化し、総合点を算出。 総合点の高い者順に希望の大学への推薦を決定する。ただし、大学が個々に設定している TOEFL®スコアや GPA 値を満たしていなければ、推薦は受けられない。 なお、すべての要件を満たしている場合、枠を超えた希望がある場合は、推薦を受けられない場合がある。 【総合点算出方法】 英語運用能力試験または外国語筆記試験……………100点満点 面接試験……………100点満点 学業成績……………99.9点満点 総合点……………299.9点満点	特になし(留学希望大学の規定による)。	国際学部教授会で審議	【英語・スペイン語】 希望者が募集人数を上回った場合は書類選考を行った上で抽選。 【フランス語】 面接試験	特になし。 ただし、希望者が募集人数を上回った場合は抽選。	【英語・中国語・朝鮮語・スペイン語】 特になし。 ただし、希望者が募集人数を上回った場合は抽選。 【フランス語】 選考あり 【ドイツ語】 選考あり	書類選考を行った上で、定員数を上回った場合は抽選。	ははじめに、学内選考により関西学院大学の派遣候補者が決定する。 次に国連ボランティア計画(UNV)による書類審査・電話インタビューを受ける。この選考プロセスにおいて派遣先国・機関のマッチングが行われ、派遣が確定する。 UNV による選考には本学の他、国内7大学の学生も参加する。	書類及び面接による学内選考が実施される。面接選考に合格した段階で派遣予定先が決定するとともに、学内の派遣候補者となる。学内選考後、派遣先による選考(英文履歴書、英文エッセイ審査、電話インタビューなど)を経て、最終的に派遣先が確定する。	ダブルディグリー留学案内参照							
事務窓口	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター、国際学部事務局	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際学部事務局	国際教育・協力センター・言語教育研究センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター・国際学部事務局								
申込時期・ 決定時期	【第1期】募集説明会と出願：4月～5月 推薦者決定：9月 【第2期】募集説明会と出願：7月～9月 推薦者決定：12月	留学希望大学の学年暦による	【第1期募集】9月 【第2期募集】1月	募集説明会：10月～11月 出 願：【第1期】11月(春学期プログラム) 【第2期】1月(秋学期プログラム) 参加者決定：【第1期】12月／【第2期】1月	【台湾・韓国】 募集説明会：1月頃 出 願：4月 10月 参加者決定：4月	【中国】 9月頃 10月 10月	募集説明会：11月 出 願：1月 参加者決定：1月	派遣学期：【2021秋】 募集説明会：2020年10月 出 願・面接：2020年11～12月 UNV による選考：2021年5～6月 派遣候補者決定：2021年6月	派遣学期：【2021春】 募集説明会：2020年4月 出 願・面接：2020年5～6月 派遣候補者決定：2020年6月 ※2020年度の募集時期の詳細は下の参照資料で確認してください。	ダブルディグリー留学案内参照							
滞在形態	寮が基本	寮が基本	寮またはホームステイ	時期やプログラムにより、寮／ホームステイ／ホテル	寮	時期やプログラムにより、寮／ホームステイ／ホテル	ホームステイ	アパートなど	派遣先により提供される住居など	ダブルディグリー留学案内参照							
科目取扱・ 単位認定	帰国後、留学先で修得した単位について「単位認定願」とともに、シラバス・テキスト・教材等を国際学部事務局に提出する。国際学部による単位認定審査で国際学部の授業科目として認定してもよい旨の判断がされれば、単位が認定される。	帰国後、留学先で修得した単位について「単位認定願」とともに、シラバス・テキスト・教材等を国際学部事務局に提出する。国際学部による単位認定審査で国際学部の授業科目として認定してもよい旨の判断がされれば、単位が認定される。	帰国後、留学先で修得した単位について「単位認定願」とともに、シラバス・テキスト・教材等を国際学部事務局に提出する。国際学部による単位認定審査で国際学部の授業科目として認定してもよい旨の判断がされれば、単位が認定される。	【英語】 「英語中期留学」(各8～16単位)および対象のグローバルスタディーズ科目 【フランス語】 「フランス語中期留学Ⅰ～Ⅲ」(各4単位) 【スペイン語】 「スペイン語中期留学Ⅰ・Ⅱ」(各7単位)	北京第二外国語学院、蘇州大学：「中国語中期留学」(11単位) 国立台湾師範大学：「中国語中期留学」(12単位) 延世大学：「朝鮮語中期留学」(14単位)	【2年次に参加の場合】 「英語短期留学」、「中国語短期留学」、「朝鮮語短期留学」(各1～5単位) 【1年次に参加またはフランス語、ドイツ語・スペイン語海外研修の場合】 「外国大科目Ⅰ」(1～5単位) (「自由履修科目」の扱い)	「英語短期留学」(4単位) 「インターンシップ準備演習(オーストラリア)」(4単位)* 「海外社会体験実習(オーストラリア)」(6単位)* ※「自由履修科目」の扱いとなります。	国連ユースボランティア実習(12単位)、国際社会貢献実習(12単位)は「自由履修科目」の扱いとなります。 ※国連ユースボランティア課題研究(4単位)の扱いは以下の通り。 ※ <table><tr><th>対象</th><th>修得した単位の取り扱い</th></tr><tr><td>2016年度までの参加者</td><td>「自由履修科目」</td></tr><tr><td>2017年度以降の参加者(2014年度以降に降入学生)</td><td>「グローバル共通科目」</td></tr><tr><td>2017年度以降の参加者(2013年度以前入学生)</td><td>「共通科目」</td></tr></table>	対象	修得した単位の取り扱い	2016年度までの参加者	「自由履修科目」	2017年度以降の参加者(2014年度以降に降入学生)	「グローバル共通科目」	2017年度以降の参加者(2013年度以前入学生)	「共通科目」	国際学部・留学先大学が相互に単位認定を行う。単位認定にあたっては両大学が対象科目のシラバス等により審査する。各大学で修得した単位を相互に認定することで、4～5年で2つの学位の取得が可能となっている。
対象	修得した単位の取り扱い																
2016年度までの参加者	「自由履修科目」																
2017年度以降の参加者(2014年度以降に降入学生)	「グローバル共通科目」																
2017年度以降の参加者(2013年度以前入学生)	「共通科目」																
奨学金等	申請すれば必ず支給されるもの 【国際学部留学奨励金】 1セメスター：30万円、2セメスター：60万円 選考により支給されるもの(一部のみ記載) 【国際学部留学奨学金】 1セメスター：20万円、2セメスター：40万円 【併合憲奨奨学金】 1セメスター：50万円、2セメスター：100万円	申請すれば必ず支給されるもの 【国際学部留学奨励金】 1セメスター：30万円、2セメスター：60万円 選考により支給されるもの(一部のみ記載) 【国際学部留学奨学金】 1セメスター：20万円、2セメスター：40万円	申請すれば必ず支給されるもの 【国際学部留学奨励金】 1セメスター：30万円、2セメスター：60万円 選考により支給されるもの(一部のみ記載) 【国際学部留学奨学金】 1セメスター：20万円、2セメスター：40万円	申請すれば必ず支給されるもの 【国際学部留学奨励金】40万円 または 【関西学院大学中期留学奨学金】20万円	申請すれば必ず支給されるもの 【国際学部留学奨励金】15万円 または 【関西学院大学短期留学奨学金】 アジア3万円、アジア以外5万円	申請すれば必ず支給されるもの 【国際学部留学奨励金】40万円 または 【関西学院大学中期留学奨学金】20万円	申請すれば必ず支給されるもの 【国際学部留学奨励金】40万円 または 【国際社会貢献活動奨学金】30万円	派遣が確定した学生に対して UNV から航空券、現地滞在費などの手当てが支給されます。	選考により支給されるもの 【ダブルディグリー留学奨学金】月額：10万円* *支給は、最短期間が限度。また授業のない期間は支給されない。 *交換留学扱い(授業料相殺)の期間は、月額3万円。 ダブルディグリー留学期間中は、開学の学費が年額5万円に減額される。								
備考	*競争率が高い。TOEFL iBT®スコアアップ、学業成績を高く保つことがポイント。(GPA3.3以上を目指す) *第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	*SAF (Study Abroad Foundation、米国非営利組織)によるサポートを受けて留学先を探すことも可能。 *第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	*第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	*第1外国語以外の中期留学や、3年次以降に参加する場合、第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	*第1外国語以外の中期留学や、3年次以降に参加する場合、第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	*1年次に参加した場合は、国際学部の言語教育科目としてではなく、全学科目(自由履修科目)として扱われる。	*第1外国語以外の中期留学や、3年次以降に参加する場合、第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	*開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境の中で長期滞在するプログラムです。体力・精神力・開発途上国での活動実績、関連科目の履修実績が求められます。 *このプログラムに参加する場合、第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	高い学力と強い精神力が求められるプログラムです。								
参照資料	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」 (4月発行、国際教育・協力センター)	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」 (4月発行、国際教育・協力センター) 「ISAF 認定留学の手引き」 (8月発行、Study Abroad Foundation)	第1期募集： 「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」 (4月発行、国際教育・協力センター) 第2期募集： 「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」 (9月発行、国際教育・協力センター)	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」 (9月発行、国際教育・協力センター)	「国際学部中期留学2020」 (1月発行、国際学部)	夏季プログラム： 「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」 (4月発行、国際教育・協力センター) 春季プログラム： 「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」 (9月発行、国際教育・協力センター) フランス語・ドイツ語：言語教育研究センターウェブサイト	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」 (4月発行、国際教育・協力センター) 「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」 (9月発行、国際教育・協力センター)	「国際教育プログラム募集要項 Volume Ⅰ」 (4月発行、国際教育・協力センター) 「国際教育プログラム募集要項 Volume Ⅱ」 (9月発行、国際教育・協力センター)	「ダブルディグリー留学案内」 (国際学部) 「ダブルディグリー留学募集要項」 (国際教育・協力センター)								